

令和8年3月23日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立目黒中央中学校

校長 田原 弘一

令和7年度 目黒区立目黒中央中学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

(1) 第1回実施日時 令和7年5月1日(木) 午後2時35分～午後3時35分

- ・授業参観(6校時の授業を参観)
- ・評議員会(本校経営方針の説明・意見交換)

(2) 第2回実施日時 令和8年2月14日(土) 午前11時00分～午前11時45分

- ・学校評価に基づいた意見交換
- ・来年度の予定について(周年行事等)

2 参加者

第1回

- ・奥川 朝子 評議員(元PTA関係・令和7年～)
- ・濱田 一幸 評議員(元PTA関係・令和5年～)
- ・有賀 友紀子 評議員(福祉関係者・令和7年～)
- ・降籬 淳平 評議員(福祉関係者・令和5年～)
- ・田原 弘一 校長
- ・須藤 信之 副校長

第2回

- ・奥川 朝子 評議員(元PTA関係・令和7年～)
- ・濱田 一幸 評議員(元PTA関係・令和5年～)
- ・有賀 友紀子 評議員(福祉関係者・令和5年～)
- ・田原 弘一 校長
- ・須藤 信之 副校長

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	◎(成果)、●(課題)、 ◎(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見 (学校運営協議会での意見)
I 学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて	◎保護者、生徒、地域、教職員ともに肯定的な評価が約85%近くあった。全体的に学校生活が落ち着いていると評価されたためと考える。	魅力・活力・信頼のある学校へ ・教員と生徒・保護者の信頼関係を基盤とし、「ことば」を大切にする。 ・教員一人一人が学校での声かけの場面を増やす。教職員同士、教員	・生徒にとって大切なことだと思うので、肯定的な評価が高く維持されることが良いと思いました。 ・信頼関係を基盤とした「言葉を大切にする」取り組みが良いと思います。

		と生徒、教員と保護者との会話を増やし、好ましい人間関係を築く。	
II 教育目標について ・教育目標、時程、教育内容全体について	●保護者の肯定的な評価が微減（▲4.9）となった。教育目標とその意義を改めて周知する必要があると考える。また、教育目標と教育活動の指導の一体化が課題であると考え。	「目指す学校像」「目指す生徒像」に基づいた教育目標へのアプローチ ・教職員は学校の主役が生徒であることを常に意識する。	・保護者には伝わりにくい部分かと思えます。私自身も保護者会等で、校長先生から繰り返し伺うことで「教育目標」の存在意味を理解しました。
III 心の教育について ・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について	「目指す学校像」「目指す生徒像」に基づいた教育目標へのアプローチ ・教職員は学校の主役が生徒であることを常に意識する。	・保護者には伝わりにくい部分かと思えます。私自身も保護者会等で、校長先生から繰り返し伺うことで「教育目標」の存在意味を理解しました。	「目指す学校像」「目指す生徒像」に基づいた教育目標へのアプローチ ・教職員は学校の主役が生徒であることを常に意識すること。
IV 学習指導等について ・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、習熟度別指導、〇〇タイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について ・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について	●教職員の肯定的な評価と、保護者の肯定的な評価の割合が30%以上乖離している。保護者が授業参観した際、肯定的な印象をもつ授業を全ての教員が実践することが課題であると考え。	学力の向上 ・学習用情報端末を活用し、生徒が主体的・対話的に学べる学習環境を整える。 ・校内研究において、生徒の思考力・判断力・表現力を伸ばす授業の研究や生徒の創造性を育む授業を研究する。 探求的な学び ・情報収集、分析、協働を通じて課題解決を目指す学習環境を設定する。	・生徒意見が下がっているのが気になりました。 ・結果分析からの改善につなげていってほしい。
V 体育・健康教育について ・体力向上、健康の促進に向けた取組について	◎生徒・教員の肯定的な評価が90%以上である。体力向上に対する取組を継続したことや、めぐろ ここカラダシートを活用して生徒の健康に対する意識を	体力の向上 ・生徒の健康診断や体力調査等を活用し、自らの生活を振り返り改善する機会を体育の授業を中心に設ける。 ・健康教育、食育等を通	・肯定的な意見が多くて良いと感じました。

	<p>向上させることができた成果と考える。</p> <p>○保護者の肯定的な評価が0.8%増となった。体育・健康教育に関する本校の取組にご理解いただけるよう、引き続き周知していく。</p>	<p>して、健康に関する豊かな知識と正しい理解を身に付けさせ、健康の保持増進に努めさせる。がん教育や性教育に講師を活用するとともに、保護者の参観を周知する。</p>	
<p>VI 特別活動について</p> <p>・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて</p>	<p>◎四者の肯定的な意見が83%を超えている。特に生徒の肯定的な意見が95%を超えており、学校行事や部活動の充実がその要因であると考えられる。</p>	<p>学校行事の精選、部活動外部指導員等の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業日の日数増やそれに伴う教育課程編成の難しさ等の問題から、学校行事の精選を行っていく。 ・教員の働き方改革の観点から、これまで同様に部活動指導員の活用、外部委託の推進を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が「充実している」と感じていることが良いことだと思います。 ・行事の見直しをして無くなってしまう行事が気になりました。
<p>VII 学校生活全般について</p> <p><生活指導></p> <p>・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて</p>	<p>●保護者、生徒の肯定的な評価が、▲1.9% ▲1.4%微減となった。生活指導面での、生徒・保護者への多様な指導・支援が必要になったことが要因であると考えられる。</p>	<p>生徒センター方式の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も今年度同様に学級の教室として、各教室を運用し、生徒や学級としてのよりどころを作ることで、学校生活の安定や生活指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は常に真摯に向き合われていると思います。 ・今後も繊細なことなので大切に生徒と向き合っていただけたらと思います。 ・生徒・保護者への多様な指導が増えた原因が気になりました。
<p><防災教育・安全指導></p> <p>・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて</p>	<p>◎三者の肯定的な評価が93%以上である。毎月の避難訓練や講師による生活安全教室などが評価された結果だと考える。</p> <p>◎地域の方も参加した避難所運営訓練の実施や第2学年で実施した</p>	<p>防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営・体験教室を見直し、今後、学年毎に参加できるような形態にできないか検討する。 ・関係機関や講師を活用し、より実践的な防災教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の訓練は生徒たちに根付いていて素晴らしいことだと感じています。 ・地域と連携してより実践的な訓練ができると良いかと思いました。

	防災教室も評価されたものとする。	・避難訓練を充実させる。災害の種類、災害の時間、災害の場所等をさまざまに想定した訓練を毎月行う。	
<p><幼・保・小・中連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園との連携について 	<p>◎教職員の肯定的意見が90%以上である。小・中連携の取組が評価されている結果だと考える。</p> <p>●保護者の肯定的意見を伸ばすために、小・中連携時に保護者参観や情報の発信を行う必要があると考える。</p>	<p>小・中連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係小学校と授業研究や児童と生徒の交流（いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議、運動会補助、小6訪問、部活動見学等）を実施して連携を深める。連携時には保護者参観や情報発信についても随時行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は自分のこどもが該当する行事の学年になるまで連携していることを知らないと思います。 ・小中連携時に保護者参観（特に小学生の保護者）の参観機会を作るのは良いと思います。
<p>VIII 情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信の充実について 	<p>◎地域の肯定的意見が約20%増となった。学校公開、ホームページ、C4th Home & School（保護者専用アプリ）、学校だより等を活用して、学校の情報を公開し、風通しのよい学校づくりを続けたことが要因と考えられる。</p>	<p>保護者・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の活用、保護者への協力依頼、PTA活動の充実などをさらに進めていく。 ・情報の電子化を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の▲が気になりました。
<p>IX 教員の人材育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について 	<p>◎教職員の肯定的な評価が100%であった。引き続き、職務をとおして専門性と協働性の育成に努め、教育公務員としての自覚をもって職務を遂行していく。</p>	<p>人材育成の組織化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長、副校長、主幹教諭を軸として組織的な教育活動及び人材育成を行う。組織的な教育活動の中で、業務内容ごとに指導する教員、助言を受ける教員を明確にして意図的なOJTを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が肯定的評価というのは素晴らしいと思いました。

<p>X 教員の働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> 校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について 	<p>◎肯定的な評価が90%近くとなった。</p> <p>職員会議の削減など、昨年度に続き継続実施したが、学年会の回数や会議にかかる時間の増加について今後も検討が必要であると考え</p>	<p>働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の業務負担を軽減する以下の取組を行う。AIドリル、留守番電話の設定(8時~17時以外は留守番電話対応)、1つの会議を50分以内に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革が進んでいる結果が出ていて良いと思います。 先生方一人一人が心も体も元気なことが学校には大切なことだと思いました。
<p>XI 服務事故の防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> 服務事故防止に向けた取組などについて 	<p>◎教職員の肯定的評価100%である。定期的な服務事故未然防止研修に加え、朝の朝礼時の取組や定期的な情報提供が評価された要因と捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き服務事故未然防止研修を定期的実施して、「服務の厳正」に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、服務事故の防止に努めてください。